

温暖化対策について

従来：緩和策（CO2排出削減策 等）

【埼玉県の対策】（ストップ温暖化・埼玉ナビ）
 ・産業部門：排出量取引制度の創設 等
 ・運輸部門：CO2排出削減計画の作成 等
 ・家庭部門：住宅用太陽光発電の拡大 等

しかし！

【IPCC(研究者集団)報告書】
 全世界で最も厳しい緩和策をとっても
 数十年間は温暖化が進行する
 ⇒異常気象が頻発、極端に！

【台風巨大化、ゲリラ豪雨】【夏の高温】



温暖化とどう付き合うか！ = 適応策

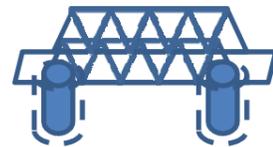
【堤防強化】
 ・水害対策 等



【救急搬送体制強化】
 ・熱中症、光化学
 オキシダント対策



【交通インフラ強化】
 ・道路・橋梁 等



【品種改良、新種普及】
 ・高温被害 等



今後：緩和策 + 適応策

温暖化対策の庁内推進体制

地球温暖化対策
 推進委員会
 （議長：副知事、
 委員：各部長）

地球温暖化対策
 推進委員会幹事会
 （幹事長：環境部副部
 長、
 幹事：各主管課長）

大規模事業所等専門部会ほか
 （部会長：温対課長、部会員：関係課長）

適応策専門部会
 （部会長：温対課長、部会員：関係課長）

適応策専門部会作業部会
 （専門部会員：専門部会所属の各課職員）

○作業部会各課の適応策

- ・安全な暮らし
 治山施設の整備
 山間部の県管理道路の通行規制
 多量な降雨でも氾濫しない河川整備の推進
- ・健康な暮らし
 熱中症予防対策
 光化学オキシダント対策
- ・経済的に豊かな暮らし
 高温障害軽減栽培技術の開発、高温に強い品種の育成
- ・快適な暮らし
 野生生物の保護

温暖化の適応策に係る研究

- 温暖化影響・適応策のモデルスタディ
 「簡易予測ツール」(国立環境研究所)
 気候変動の影響に係る予測データを提供する
 ツールを活用したモデルスタディ

ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050 (埼玉県地球温暖化対策実行計画)



- 計画期間
 2009～20年度(12年間)
 ※ 2014年度見直し予定
 (早まる可能性あり)

- 削減目標
 2020年の
 温室効果ガス排出量を
 2005年比 25%削減する

温暖化の適応策の検討スケジュール(予定)

2月～
 今年度末
 作業部会を開催し、既に各課が実施してい
 る事業を適応策の視点から整理

5月
 主管課を含めて庁内全体で適応策に関す
 る会議を開催(普及啓発用)

5月～
 9月下旬
 作業部会で新たな適応策を検討
 (部会開催は2～3回程度)

10月上旬
 専門部会で新たな適応策(案)を了承

10月上旬
 以降
 必要に応じて作業部会を開催し、更に新た
 な適応策を順次検討

活用

反映